

【山形県酒田市】酒田市地域女性活躍推進事業

地域の実情と課題

- 本市の女性就業率は49.1%で男性就業率66.0%と比べて低い。
- 結婚や出産を機に職を離れるケースがあり、正規雇用43%に対し、非正規雇用の割合が35%と高い。
- 山形県のデータでは、女性の育児休業取得率は93.5%で、特に30人未満の企業規模では76.7%未満であり低い。10人以上企業の平均賃金は270.4千円、このうち女性平均は220.3千円であり男性平均302.2千円を約82千円下回っている。

事業の特徴

- ①関係機関、学識経験者、有識者等からなる女性活躍推進懇話会において本市の現状と課題を情報共有し、方向性を協議しながら連携して事業を実施する。
- ②市民フォーラムの内容等も懇話会で検討し、関係機関等と役割分担等した上で、女性活躍の中でも本市の課題として抽出された女性のチャレンジ支援について実施する。

事業の効果

酒田市女性活躍推進懇話会で関係機関等と連携し、事業を実施した結果、本市の実情を共有すると共に、次年度以降の官民が連携した施策へとつなげることができた。また、市民フォーラムを開催したことにより、女性活躍を推進する機運が高まってきている。今年度設定した目標のうち、結果を把握できる項目においては、数値の改善が見られている項目もあるため、今後も継続して事業に取り組んで行く必要がある。

目的・目標

- 女性がキャリアを継続し活躍することにより地域社会を活性化するため、官民一体となって女性活躍を推進していくことを目的とする。
- ・女性就業率 49.1%(H27.10)→60%(H32.10)
 - ・平均賃金220.3千円(H29.7)→男性の平均賃金に近づける
 - ・職場における男女の不平等感を感じる割合60.5%(H29.12)→40%(R4)
 - ・「山形いきいき子育て応援企業」登録・認定数111社(H31.1)→139社(R2.1)

連携団体

酒田市女性活躍推進懇話会
国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田商工会議所、庄内銀行、子育て支援団体等、女性農業者団体、中小企業診断士、東北公益文科大学、有識者等

今後の課題

本市において女性活躍を推進するために課題として挙げられているものは、事業主の意識改革、働く女性自身の意識改革、家庭や地域の意識改革と意識啓発に関するものが最も大きい。意識啓発は簡単に進むものではないが、引き続き本市の女性活躍に関する指標等の見える化に努め、懇話会において、関係機関始め官民連携して実施していく必要がある。

事業の概要

【酒田市女性活躍推進懇話会】

副市長を座長とし、国、県、関係機関、学識経験者等による委員13名(男性1名、女性12名)により、本市の現状把握、情報共有、事業内容協議・実施、提言、検証等について年間2回開催。



【酒田市女性活躍推進市民フォーラム】

「令和元年 わくわく生きる わくわく働く」

本市の女性活躍を推進するにあたり、平成29年度に実施した本市の20～30歳代の女性のアンケート結果によると、回答者の8割以上が働いているが、職業生活において明確な目標を描けていない人や、働くことに対して自分の能力や対人関係について自信がない、不安だと答えた人の割合が多かった。

そのため、多様なロールモデルによるパネルディスカッションやグループトークなどを行い、女性の意識啓発や新たなチャレンジを促すようなフォーラムを開催し、本市の女性活躍を推進するものとした。

■開催日時: 令和元年11月23日 ■開催場所: 酒田市公益研修センター

■参加者数: 第1部パネルディスカッション220名

第2部グループトーク延べ97名(グループ①22名 グループ②15名 グループ③22名 グループ④12名 グループ⑤26名)

【第1部】パネルディスカッション「一歩踏み出す令和な働き方～粹じゃなくてわくわく！」

【第2部】グループトーク～パネリストと話そう！～



第1部パネルディスカッション



第2部グループトーク

